

2018年度 衛藤細矢記念賞 受賞者

氏名	金光 義彦 (カネミツ ヨシヒコ) 博士
所属	京都大学 化学研究所 教授
受賞理由	電子デバイス材料として多用されている Si、Ge、SiC などの間接遷移型半導体物質をナノ粒子化することにより室温で光励起発光が観察されることを世界で初めて明らかにし、さらに Si ナノ粒子のサイズと表面構造の操作により、光の3原色の発光を実現した。また、このナノ半導体の発光機構がエキシトンのナノ空間での量子効果であることを解明した。

氏名	萩谷 昌己 (ハギヤ マサミ) 博士
所属	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
受賞理由	ソフトウェアの基礎開発と世界に通用する記号処理の設計を行い、その成果は、ソフトウェア基礎論、セキュリティの理論解析、分子ロボットなど幅広い分野で活用されている。また、ソフトウェア技術の開発も行い、記号処理言語の Hyper-Lisp と Kyoto Common Lisp を作成し世界的にも有名である。KCL はフリーソフトウェアとしても流通している。

以上 2名